

第 7 節 美術・文学館課

〔総括概要〕

美術・文学館課の主な分掌事務は、栃木市立美術館及び栃木市立文学館の管理運営及び展示、美術作品・文学作品等の調査・研究等、教育普及活動などである。

栃木市立美術館は、開館後初の展覧会となる開館記念展「明日につなぐ物語」を開催し、喜多川歌麿、橋本邦助、清水登之、田中一村、雲田はるこなど市ゆかりの作家の作品を紹介した。また、企画展（「これだけは見ておきたい 日本洋画の歩み」「くもん子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵 江戸の子ども絵・おもちゃ絵大集合！」「写真家が捉えた 昭和のこども」）、及び、収蔵品展Ⅰ～Ⅳを開催した。そのほか、展覧会に関連した講演会、ギャラリートーク、ワークショップや、親子での来館者を対象としたイベント「空飛ぶくじらがやってきた！」等を実施し、美術館を楽しむ機会を提供した。なお、年間を通じて、市内小中学校の教員を対象に、美術館並びに文学館への理解を深め、児童生徒の校外学習での活用を促進するため、「先生のための見学会」を開催した。

栃木市立文学館は、3回の企画展（「没後 50 年 吉屋信子と栃木」「花物語を描いた人 中原淳一」「ビール麦の父 田村律之助」）を開催した。また、年間を通じて栃木出身の作家である山本有三、吉屋信子、詩人の柴田トヨの各氏を中心に、市ゆかりの文学に関する常設展示（随時展示替えあり）を開催した。そのほか、展示にちなんだイベント等を実施し、市民等の文学への興味関心の喚起に努めた。

総務係

1 栃木市立美術館・文学館等の入館者数

(1) 栃木市立美術館

ア 展覧会別入館状況

(ア) 企画展

展覧会名	開館日 数(日)	観覧者 数 (人)	大人			中学生 以下
			有料	無料	計	
開館記念展 明日につなぐ物語 4月15日～6月18日	56	8,156	4,443	3,320	7,763	393
これだけは見ておきたい 日本洋画の歩み 7月8日～9月24日	68	2,757	1,956	641	2,597	160

くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵江戸の子ども 絵・おもちゃ絵大集合！ 10月7日～11月19日	38	3,110	1,309	1,499	2,808	302
写真家が捉えた 昭和のこ ども 1月13日～3月24日	61	4,129	3,181	682	3,863	266
合計	223	18,152	10,889	6,142	17,031	1,121

(イ) 収蔵品展

展覧会名	開館日 数(日)	観覧者 数 (人)	大人			中学生 以下
			有料	無料	計	
収蔵品展Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	194	10,605	6,834	3,027	9,861	744
うち収蔵品展のみ観覧	194	609	388	205	593	16

イ 月別観覧者内訳

月	開館日数 (日)	観覧者総数 (人)	大人(人)			中学生以下 (人)
			有料	無料	計	
4	14	1,457	1,196	235	1,431	26
5	26	2,657	2,158	452	2,610	47
6	16	4,042	1,089	2,633	3,722	320
7	20	802	552	205	757	45
8	27	947	656	203	859	88
9	21	1,044	772	233	1,005	39
10	21	1,123	756	289	1,045	78
11	23	2,119	658	1,237	1,895	224
12	21	434	252	178	430	4
1	16	1,102	844	155	999	103
2	25	1,797	1,353	331	1,684	113
3	20	1,237	991	196	1,187	50
合計	250	18,761	11,277	6,347	17,624	1,137

(2) 栃木市立文学館

ア 展覧会別入館状況

(7) 企画展

展覧会名	開館日 数(日)	観覧者 数 (人)	大人			中学生 以下
			有料	無料	計	

没後 50 年 吉屋信子と栃木 4 月 15 日～9 月 3 日	122	4,175	2,143	1,827	3,970	205
花物語を描いた人 中原淳一 9 月 16 日～12 月 3 日	67	2,480	1,294	946	2,240	240
ビール麦の父 田村律之助 12 月 23 日～3 月 24 日	74	1,611	1,176	315	1,491	120
合計	263	8,266	4,613	3,088	7,701	565

(イ) 常設展

展覧会名	開館日 数(日)	観覧者 数 (人)	大人			中学生 以下
			有料	無料	計	
常設展	307	8,651	4,935	3,138	8,073	578
うち常設展のみ観覧	307	385	322	50	372	13

イ 月別観覧者内訳

月	開館日数 (日)	観覧者総数 (人)	大人 (人)			中学生以下 (人)
			有料	無料	計	
4	26	1,400	355	997	1,352	48
5	26	2,869	745	1,981	2,726	143
6	26	3,115	469	2,376	2,845	270
7	26	1,065	287	723	1,010	55
8	27	1,330	316	948	1,264	66
9	26	1,554	351	1,008	1,359	195
10	26	1,590	525	1,011	1,536	54
11	25	2,648	519	1,968	2,487	161
12	24	881	163	685	848	33
1	24	926	311	590	901	25
2	25	1,587	551	932	1,483	104
3	26	1583	343	1,089	1,432	151
合計	307	20,548	4,935	14,308	19,243	1,305

(3) とちぎ歌麿館 (入館無料)

開館日数(日)	入館者数 (人)
132	1,515

2 栃木市立美術館・文学館運営協議会

美術館・文学館の運営を円滑に行うための運営協議会を開催した。

- ・委員数 10名（うち公募委員2名）
- ・任期 令和5年7月1日から2年間

開催日	内 容
8月8日（火）	・ 栃木市立美術館・文学館運営協議会正副会長選出について ・ 令和5年度事業の状況について ・ 令和6年度事業計画（案）について
2月21日（水）	・ 令和5年度事業の状況について ・ 令和6年度事業計画（案）について

3 栃木市立美術館・文学館サポーター（運営ボランティア）

運営ボランティアとして、栃木市立美術館・文学館サポーターに受付補助、イベント補助等の活動に参加いただいた。

- ・登録人数 52人

活動内容	活動人数
美術館受付補助業務	延べ280人（4月15日～3月24日）
イベント・講演会等 補助業務	延べ89人
チラシ等発送業務	延べ63人
植栽管理業務	延べ4人

4 栃木市立美術館・文学館賛助制度（企業等サポーター）

財源を確保するとともに、官民連携による美術館・文学館の活性化を図るため、美術館・文学館の事業の趣旨に賛同し、賛助する企業・団体等を募集した。

- ・企業等サポーター（※1口50,000円）

株式会社呉光製作所（1口）、ひざつき製菓株式会社（1口）、滝沢ハム株式会社（6口）、トヨタホーム株式会社 栃木事業所（1口）、栃木信用金庫（2口）

5 とちぎMuséeフェスの開催

栃木市立美術館開館1周年記念イベントとして、「とちぎMuséeフェス」を開催した。

- ・開催日 11月3日（金・祝）
- ・会場 栃木市立美術館エントランス前、栃木市市民交流センター
- ・内容 フルートコンサート、保育園児による太鼓演奏、アートに飛び込む！浮世絵ヨガ他

学芸係

1 栃木市立美術館・文学館展示関係

(1) 栃木市立美術館

開館記念展「明日につなぐ物語」をはじめ、4回の企画展及び4回の収蔵品展を開催した。そのほか、展示にちなんだイベント等を実施し、美術館を楽しむ機会を提供した。また、市内小中学校の教員向けに「先生のための見学会」を開催した。

ア 開館期間 4月15日（土）～3月24日（日）

イ 講演会等

(ア) 「栃木が育てた浮世絵師歌麿、栃木に生まれた日本画家田中一村」

- ・実施日 4月15日（土）
- ・会場 栃木市市民交流センター 大交流室
- ・講師 小林忠氏（岡田美術館館長）
- ・聴講者数 70名

(イ) 「喜多川歌麿の画業と魅力」

- ・実施日 5月6日（土）
- ・会場 栃木市市民交流センター 大交流室、栃木市立美術館展示室
- ・講師 山本ゆかり氏（川崎・砂子の里資料館学芸員、多摩美術大学講師）
- ・聴講者数 40名

(ウ) 「浮世絵とあそぼう！—大人のまなざし、子どもの暮らし—」

- ・実施日 10月8日（日）
- ・会場 栃木市市民交流センター 大交流室
- ・講師 藤澤紫氏（監修者、國學院大學教授、国際浮世絵学会常任理事）
- ・聴講者数 48名

(エ) 「アート×美術館×認知症：アトリップ（対話型鑑賞）の概要と効果」

- ・実施日 令和6年2月7日（水）
- ・会場 栃木市市民交流センター 大交流室
- ・講師 林容子氏（一般社団法人アーツアライブ代表理事、尚美学園大学・大学院准教授）
- ・聴講者数 33名

ウ イベント等

(ア) 学芸員によるギャラリートーク

- ・実施日 4月29日（土・祝）、5月14日（日）、6月4日（日）、7月8日（土）、8月6日（日）、9月10日（日）、10月21日（土）、11月12日（日）、12月9日（土）
- ・会場 栃木市立美術館
- ・参加者数 174名

(イ) 空飛ぶくじらと遊ぼう！（絵本の読み聞かせとくじらのバルーンを膨らませた美術館・文学館ひろばを活用したイベント）

- ・実施日 5月5日（金・祝）
- ・会場 栃木市立美術館・文学館ひろば
- ・講師 名取初穂氏（國學院大學栃木短期大学准教授）
- ・参加者数 50名

- (ウ) 雲田はるこ氏サイン会
- ・実施日 5月13日(土)
 - ・会場 栃木市市民交流センター 大交流室
 - ・参加者数 61名
- (エ) ファミリーデー！スタンプでうちわをデザイン！
- ・実施日 5月28日(日)
 - ・会場 栃木市立美術館多目的室(つなてみち)
 - ・参加者数 3名
- (オ) ファミリーデー！とちぎの作家をしるツアー～びじゅつ編～
- ・実施日 5月28日(日)
 - ・会場 栃木市立美術館
 - ・参加者数 3名
- (カ) ワークショップ 日本画絵の具を楽しもうーうちわづくりー
- ・実施日 7月23日(日)
 - ・会場 栃木市立美術館多目的室(つなてみち)
 - ・講師 名取初穂氏(國學院大學栃木短期大学准教授)
 - ・参加者数 25名
- (キ) 学芸員によるキッズギャラリートーク
- ・実施日 7月29日(土)、8月20日(日)、11月5日(日)、3月9日(土)
 - ・会場 栃木市立美術館展示室A・B
 - ・参加者数 27名
- (ク) ワークショップ 多色摺り！ミニすり体験
- ・実施日 11月5日(日)、11月18日(土)
 - ・会場 栃木市立美術館展示室多目的室(つなてみち)
 - ・参加者数 173名
- (ケ) 輝いていた！昭和のわたし(昭和のこども時代の写真を集めて展示したイベント)
- ・実施日 令和6年1月13日(土)～3月24日(日)
 - ・会場 栃木市立美術館多目的室(つなてみち)
 - ・参加者数 26名
- (コ) ワークショップ 時間めぐりーとちぎの今を写すー(栃木の街歩きをしながら写真撮影し、講師が講評とともにベストショットを選出し、展示)
- ・実施日 令和6年1月27日(土)
 - ・会場 栃木市立美術館とその周辺
 - ・講師 篠原誠司氏(足利市立美術館学芸員)
 - ・参加者数 10名
- (サ) 双方向対話型鑑賞「語ろう、昭和のこどもたち」
- ・実施日 令和6年2月25日(日)
 - ・会場 栃木市立美術館展示室A・B
 - ・参加者数 12名

エ 教員見学会

先生方のための展覧会見学ツアー

- ・実施日 6月9日（金）、7月28日（金）、7月29日（土）、8月2日（水）
- ・会場 栃木市立美術館・文学館
- ・参加者数 38名

オ 市内小中学校等への出前授業

企画展「くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵 江戸の子ども絵・おもちゃ絵大集合！」関連として、市内小中学校へ出前授業を行った。

- ・実施日 11月2日（木）、11月7日（火）、11月10日（金）、11月16日（木）、11月22日（水）
- ・会場 部屋小学校、家中小学校、寺尾中学校、国府南小学校、合戦場小学校、のびるばふあむ（放課後デイサービス）
- ・参加者数 累計 154名

(2) 栃木市立文学館

企画展を3回開催、また、年間を通じて市ゆかりの文学に関する常設展示（随時展示替えあり）を開催した。そのほか、展示にちなんだイベント等を実施し、市民等の文学への興味関心の喚起に努めた。

ア 開館期間 4月1日（土）～3月31日（日）

イ 講演会等

(ア) 「吉屋信子と栃木」

- ・実施日 7月22日（土）
- ・会場 栃木市市民交流センター 大交流室
- ・講師 藍田収氏（吉屋信子記念会会長）
- ・聴講者数 50名

(イ) 「没後50年 山本有三と文化の日」

- ・実施日 11月3日（金・祝）
- ・会場 栃木市市民交流センター 講義室
- ・講師 大塚幸一氏（NPO 法人山本有三記念会会長）
- ・聴講者数 25名

(ウ) 「新たな田村律之助像の制作について」

- ・実施日 2月11日（日・祝）
- ・会場 栃木市市民交流センター 大交流室
- ・講師 鈴木廣志氏（田村律之助顕彰会会長）、川島史也氏（筑波大学助教）
- ・聴講者数 42名

ウ イベント等

(ア) 学芸員によるギャラリートーク

- ・実施日 4月22日（土）、4月29日（土・祝）、5月28日（日）、6月24日（土）、7月23日（日）、8月26日（土）、10月21日（土）、11月19日（日）、1月28日（日）、2月24日（土）、3月24日（日）
- ・参加者数 62名

- (イ) ファミリーデー！たてものたんけんツアー
- ・実施日 5月28日（日）
 - ・会場 栃木市立文学館
 - ・参加者数 2名
- (ウ) 朗読会「吉屋信子作『徳川の夫人たち』」
- ・実施日 8月6日（日）
 - ・会場 栃木市立文学館 1階とちぎサロン
 - ・出演 朗読を楽しむ会（笹岡悦子氏、川元由美子氏、藺田礼子氏、福田邦子氏、荒井庸子氏（ピアノ演奏））
 - ・参加者数 29名
- (エ) ワークショップ「豆本～ミニチュア・ブック～をつくろう」
- ・実施日 11月12日（日）
 - ・会場 栃木市市民交流センター 会議室
 - ・講師 田中栞氏（日本豆本協会会長）
 - ・参加者数 20名
- (オ) クリスマスミニコンサート
- ・実施日 12月17日（日）
 - ・出演 県立栃木女子高等学校コーラス部
 - ・会場 栃木市立文学館 とちぎサロン
 - ・参加者数 50名
- (カ) 親子体験教室「麦を学ぼう！麦踏み体験」
- ・実施日 1月28日（日）
 - ・会場 永田農園（大平町）
 - ・講師 田村律之助顕彰会
 - ・参加者数 41名
- (キ) 文学館・律之助マルシェ
- ・実施日 3月10日（日）
 - ・会場 栃木市立美術館・文学館ひろば
 - ・参加者数 450名
- (3) 栃木市立美術館及び文学館のPR

専用ホームページ及びSNS公式アカウント（X、Facebook、Instagram）を運用し、積極的に情報発信を行った。そのほか、FMくらら857や広報とちぎにおいて美術館・文学館の収蔵品と展覧会の紹介を行い、美術館・文学館の活動をアピールした。また、美術館・文学館施設案内リーフレット及び美術館・文学館展覧会スケジュールを作成し配布した。

「くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵 江戸の子ども絵・おもちゃ絵大集合！」と「収蔵品展Ⅱ」を周知することや浮世絵に親しみをもってもらうことを目的として、市内幼稚園児保育園児から小学校1～3年生の児童に「かざぐるま制作付きチラシ」を、市内小学校4～6年生の児童から中学校1～3年生の生徒に「栃木市立美術館ニュース 遊べる浮世絵展と収蔵品展Ⅱ編」を配布した。更に、市民サービ

スを目的として、各配布物を持参し子どもと同時に入館すると団体料金適用とした。

2 第1回栃木市立美術館専門者会議の開催

美術作品の購入及び寄附等の受入れに当たり専門者会議を開催した。

- ・開催日 令和6年3月4日（月）
- ・場 所 栃木市立美術館
- ・内 容

購入作品 清水登之《壬生寺》大正10(1921)年 加筆昭和10(1935)年 油彩・カンヴァス

清水登之《分譲地》昭和6(1931)年頃 油彩・ボード

清水登之《人柱》昭和18(1943)年 油彩・カンヴァス

受贈作品 刑部人《動物のスケッチ》大正4(1915)年 墨・紙

福田たね《椎茸》昭和35(1960)年 水彩・紙

福田たね《椎茸》昭和35(1960)年 水彩・紙

福田たね《水仙》昭和36(1961)年 顔彩・紙

雲田はるこ《『昭和元禄落語心中』描き下ろし 巴波川遊覧船》

令和5(2023)年 顔彩・色鉛筆・紙

二代飯塚鳳齋《飾卓》明治20(1887)～明治43(1910)年頃 竹

藤本能道《鉄描赤絵草花文茶盃》昭和48(1973)年頃 陶

3 喜多川歌麿関係

とちぎ歌麿館

喜多川歌麿の復刻版等の資料を展示し、喜多川歌麿と栃木市に関する情報発信を行った。とちぎ歌麿館の役割は栃木市立美術館が継承し、美術館で歌麿作品を展示することになったため、令和5年9月30日をもって閉館した。

- ・展示内容 喜多川歌麿復刻版
古久磯提灯店見世蔵の説明及び関連資料 等